

「第13期まちづくり大学/ボランティア講座（福祉関係）」

グループワークまとめ

開催日	平成30年1月13日（土）	班別	1班	ファシリテーター	岡本
参加者	長野、野添、田中、廣田、山上、水		発表者	廣田	
テーマ	これからの高齢者に対する地域住民。団体はどんな支援サービスが必要になるか！				
内容	<p>①支援可能なものにまず参加してどんな人がいるか現場を知りたい</p> <p>②現場を知って皆さんに伝えていきたい→どのようにして広められているのかも知りたい</p> <p>③支援に参加するには自分の出来ること、やりたいことを知ってもらう必要がある</p> <p>④地域の人達をもっと知らなければいけない</p> <p>⑤困っているのかどうかわかりづらい→踏み込んで入っていけない</p> <p>⑥支援してあげたいが何をすればいいのかわからない</p> <p>⑦まず身近な生活のサポートを行う</p> <p>⑧声かけの一環として買い物のお手伝い、ゴミ出し、通学路の見守り、安否確認等やっている</p> <p>⑨ゴミ出しで階段から持って降りるのに困っている方には手を差しのべている→その人が困っているかどうか知らない人が多い</p> <p>⑩年寄り、あかちゃん、ペット等の紙おむつ問題をなんとかしたい→紙おむつは重たいので運びが大変</p> <p>⑪自分が受けているサービス→自治会サロン、百歳体操、円卓元気体操、福祉協会の食事会、老人会女性部の活動→でもあまり知られていない</p> <p>⑫講座を聞いて色々なサービスがあるのがわかった→地域によりバラツキがある</p> <p>⑬今あるサービスの充実が必要</p> <p>⑭病気になった時ペットの散歩が心配と話を聞く→近所の人にはペットを飼っている事すら知らない人もいる→話をしない、相談できない等で理解されない→知っている人にしか言えない→相談窓口が必要</p> <p>⑮情報の提供→地区福祉委員・小地域ネットワーク・コミュニティカフェ・さやりんおれんじカフェ・大阪狭山市ボランティアセンター・ヒューマンケア事業等の活動をもっと広く知ってもらうには具体的にどうするかを考えていかなければならない</p> <p>⑯近所の人たちに声をかけているがなかなか広がっていかない→これが問題である</p> <p>⑰セミナー等に来ると色々お話ができる→近所の人にも知っておられ話がほぐれてくる→身近なところから会話をしていきたい</p> <p>⑱自分自身がもっといろいろな施設を知っておきたい→施設を見学したいが一人ではいけない→色々な企画をしてほしい。</p> <p>⑲カフェに行きたいと思っても一人ではなかなか行けない→グループでは来ているが一人でも入っていけるようにしてほしい</p> <p>⑳これからは買い物難民が増えてくる→コープ等使用しているがいっぺんに持って来</p>				

られたり冷凍ものが多くなり冷蔵庫に入りきれない→ある地域では露店が週に一回  
ぐらいあり助かっている→露店が広がれば有難い

②①地域の人が作ったものを提供している所もある→それぞれの役割が出来てくる

②②ホームヘルプサービスと支えあい活動の違いは→支えあい活動は住民が住民をささ  
えること、ホームヘルプサービスは仕事

②③近所ですとお願いすると気兼ねする→団体(グループ)を作ってそこで生活支援を行う

②④自治会以外のグループが多種多様にやってくればありがたい→選択肢が増える

②⑤無償・有償サービス、ホームヘルプサービス、デイサービス等の実態や中味がわかっ  
ていない→もっと勉強が必要

以 上